



一般社団法人 福岡県建築士事務所協会

TEL:092-473-7673 FAX:092-473-7278

<http://www.f-aa.jp> E-mail : info@f-aa.jp

目次 -Contents-

1	建築士事務所キャンペーン2018ご報告	2
2	福岡県内高等学校生並びに専門学校生による 建築設計競技 結果報告	4
3	表彰関係	10
4	平成30年度 日事連九州・沖縄ブロック協議会 第1回会長会議報告	11
5	九州設計3団体懇談会報告	12
6	第42回建築士事務所全国大会開催報告	13
7	会議のご報告	14
8	各支部・地域会よりお知らせ	19
9	会 員 動 静	27
10	役員さんの徒然雑記	28

1

建築士事務所キャンペーン2018 ご報告

～建築士事務所キャンペーン2018 実行委員長を仰せつかって～

藤本孝行

平成30年開催の総会により2018年度は北九州において開催することが決定しました。

早速5月の定例幹事会を開催し、実行委員長を拝命し、微力ながらすすめてまいりました。10年前に作成した資料を基に思い出しながら、また久松支部長、高崎副実行委員長はじめ皆様の意見を取り入れながら、ある時は県本部の小西事務長の知恵を借りながら新年度の5月11日の幹事会に進め方の素案を作成しました。

事務所キャンペーンの会場と設計競技の展示場を最優先に確保する必要があります。ここで当時のエピソードを披露したいと思います。まず10月終わりにから11月初めは北九州市はいろいろな団体の文化事業(北九州市は5400を超えるボランティア団体があります。)があり会場確保ができませんでした。リバーウォーク、ウェル戸畑、コムシティ黒崎等いろいろ掛け合いましたが空きがありませんでした。(1年前くらいに会場だけは押さえておかなければならないと反省しています。)

早速北九州市の建築指導部の担当部長に10年ぶりに北九州市内で県本部主催の建築士事務所キャンペーンを開催するに当たり会場確保の相談に伺いました。やはり頼りになるものですね、次の日に担当者から連絡があり11月2日(その日だけ)であればリバーウォークの小劇場が借りれそうなので、今日にでも相談に行ってくださいといわれ、早速伺い即決定してまいりました。次は設計競技作品の展示場所です。1日だけというのは無理だけど1週間展示する条件付きであれば、市民ギャラリーの半分が使えるということでしたので、そちらも即決しました。ぎりぎりセーフで確保でき安堵したのを今でも覚えています。

毎年行う北九州支部主催の児童絵画展の展示場、表彰式の会場も黒崎のコムシティにお願いに伺いました。建築士事務所キャンペーンと児童絵画展の表彰式の同日開催ということも念頭にあったのですが、止むを得ず、異なる日に開催することにいたしました。

次は『基調講演』を何にしようか、誰にしようか、これも早く決めなければなりません。10年前には末吉興一元市長に『未来につながるエコロジー』と題して建築と環境について講演をしていただきました。皆様もご存じと思いますが、『環境都市づくり』で日本はもとより世界的に功績のある方のお話を聞いていただきたいと思いお願いをしたところ快く引きうけていただきましたので、今回も



北橋健治市長に、日本で最初に環境モデル都市となった『SDGs：持続可能な開発目標』についてのお話をさせていただきたいと思い、お願いに伺いました。最初は、市長は公務多忙のため、希望に添えないかもしれないが、その時は代理の方でもよいか、との条件付きでしたが無理にお願いしました。結果はみなさんご存じの通り、北橋市長に講演していただくことになり、意義ある講演内容であったのではないかと考えています。

さらに、県本部でこれから力を入れる「CM」コンストラクション・マネジメント「BIM」ビルディング・インフォメーション・モデリング、そして「AI」アルティフィシャル・インテリジェンス（人工知能）について講演をすることにしました。それぞれ短時間の講演となり講師の先生方には申し訳なく思っていますが、意義ある講演になったのではないかと考えています。

「CM」は八島常任理事の紹介でCM協会の理事を長年されている北九州市立大学の高巢幸二教授に、「BIM」はJWCADからの互換性が図れるということでグラフィソフトの志茂るみ子様にお話をさせていただきました。これから建築士事務所業界の将来の取り組みとして欠かせない非常に大事なツールであることは間違いありません。

「AI」については急遽お話をさせていただきことになり申し訳なく思っています。拙いお話になってしまいましたが、これからのITの進化について少しでも理解していただけたのではないのでしょうか。

2045年 あと26年後に『シンギュラリティ』：人工知能が人間の能力を超える転換点が来ると予言されています。今から、自動運転、ロボット等人間の生活に欠かせないITを利用したツールが生まれます。どんな世の中が待っているのでしょうかね。

第3部の設計競技の表彰式は県本部の田中委員長はじめ委員の皆様のご尽力で滞りなく進行していただき感謝します。教育研修委員会の皆様ありがとうございました。

フライヤー作成については、県本部のホームページ作成・管理をしているボウオフィスの小野様にお願いいたしました。大変お世話になりました。キャッチコピーをつけていただいた、青年部会の皆様ありがとうございました。キャンペーンの経費についても予算内に納まりました。皆様のご芳志の賜物と感謝いたします。

最後に動員についてお話したいと思います。10年前は200名を超える参加者を得て盛会裏にキャンペーンを終えることができました。今回も最低でも200名以上の参加者となるように目標を立てさせて頂きました。結果は、第1部・2部の講演では193名、表彰式では116名、懇親会は54名で、実質226名の参加となりました。開催1週間前の集計では、100名足らずでしたが県本部岩本会長、西副会長、早田副会長、福岡地域会の賛助会の皆様、他支部の役員の皆様、北九州支部の金子副支部長はじめ支部役員の皆様、特に最後の2日目の追い込みでは、北九州市建築指導部の樋本課長、藤尾係長には大変尽力していただき感謝いたします。厚く御礼申し上げます。あっという間の建築士事務所キャンペーンでしたが、支えていただいた皆様のお蔭を持ちまして大過なく終えることができたことを嬉しく思います。合掌



2

福岡県内高等学校生並びに専門学校生による 建築設計競技 結果報告

平成30年度 福岡県内の高等学校生並びに専門学校生による建築設計競技が開催されました。
 今年は高等学校の部4校より計54点、専門学校部の部4校より計69点のご応募を頂き、審査会にて選ばれた知事賞、他入賞者の表彰式が11月2日にリバーウォーク北九州6階小劇場にて行われました。
 また平成30年10月31日～11月6日はリバーウォーク北九州市民ギャラリーにて、平成31年1月25日～1月28日は福岡市役所1階市民ロビーにおいて作品の展示会が開催されました。

経 過

平成30年 4月27日 関係校へ課題を通知、応募期限を9月28日とする
 9月28日 提出校、高等学校の部4校54点、専門学校部の部4校69点
 10月11日 福岡建設会館において、13時30分より審査会を行い各賞決定
 11月 2日 リバーウォーク北九州6階小劇場において表彰式開催
 10月31日～11月 6日 リバーウォーク北九州市民ギャラリーにおいて作品展示会開催
 平成31年 1月25日～ 1月28日 福岡市役所1階市民ロビーにおいて作品展示会開催

審査委員名

- 【審査委員長】西岡 弘 西日本工業大学建築学科 客員教授
- 福岡県建築都市部長 ●福岡県教育長 ●北九州市建築都市局長 ●福岡市住宅都市局長
- (一財)福岡県建築住宅センター理事長 ●(公社)福岡県建築士会会長 ●(公社)日本建築家協会九州支部長
- (一社)福岡県建築士事務所協会会長

協 賛

- (一財) 福岡県建築住宅センター

後 援

- 福岡県 ●福岡県教育委員会 ●北九州市 ●福岡市
- (公社)福岡県建築士会 ●(公社)日本建築家協会九州支部

参加者の皆さまへの御礼

平成最後となりました今年度建築設計競技は、審査委員長に新たに西日本工業大学建築学科客員教授の西岡弘先生にお願いし、また、北九州市で表彰式が行われる関係で、本建築設計競技で初めて北九州市長賞を北九州市に設けていただきました。

今年度の課題は高等学校の部、専門学校部の部とも「縁」を共通テーマに実施いたしました。学生・生徒の皆さんに近所付き合い、学生時代や趣味を通じての出会い等人間関係の大切さを建築設計にどう生かすかを考えていただく良い機会だったと感じています。

両部門とも課題の捉え方が多岐に渡り、個性溢れる素晴らしい力作が多く集まり、審査会では多くの審査委員の方が審査に悩まれていました。これも学生諸君の努力と先生方の熱心なご指導のお陰であると深く感謝いたします。

今年度は昨年度と比べ応募校の数は同じでしたが、専門学校部の部の応募者数が3割減る残念な結果となりました。来年度は県内の建築科のある学校に多く応募いただくよう努めてまいります。

最後に公私ともご多忙の中、課題、講評の作成及び審査いただきました西岡審査委員長並びに審査いただきました関係諸庁、各団体の方々のご協力に心より御礼申し上げます。

(一社) 福岡県建築士事務所協会 教育・研修委員会
 委員長 田中 浩

平成30年度 課題

『近所付き合いを豊かにする戸建て住宅』

計画趣旨

共通するテーマは縁（えん）です。「袖すりあうも他生の縁」と使うように縁とは人と人の出会いの大切さを示す言葉でもあります。縁には主に地縁、血縁、職業縁、学校縁、社会縁の五つがあります。「縁起でもない」の縁で非科学的とも思える言葉ですが、最終的に説明がつかない時にしばしばここに落ち着きます。縁はふちとも読みます。縁（ふち）は極めて大事な概念です。内と外とを結びつけるのも縁（えん）であり、その境界は縁（ふち）でもあります。

日本の住宅には縁側と言う優れた中間領域がありました。縁側、正確には濡れ縁は雨に当たらない意味では内部であり風に当たる意味では外部とも言えます。近所の人は玄関ではなくこの縁側に回ってきてここに座ってコミュニケーションをとっていました。住まいからこの縁側がなくなるとともに近所付き合いも希薄になってきたようです。血縁関係の希薄傾向は個人の問題として片づけられても、地縁—地域縁の希薄は社会問題として考える必要があります。

地域で起こる様々な犯罪も、高いブロック塀などで道路界線、隣地境界線と言う縁を囲う事により衆人環視がいき届かなくなった事も大きな要因です。プライバシーとのバランスを取りながらこの縁に知的操作を加えた新たな戸建て住宅の在り方の提案を求めます。

計画条件

- 1) 敷地 一般に見かける戸建住宅群（タウンハウス）の中の一敷地と仮定する。
 - 面積……間口14m×奥行16m
 - 用途地域……第一種住居（60/200）
 - 接道条件……6m道路に南北どちらかの面が接している事。
 - その他……上下水道完備、受電は前面道路から、前面道路と敷地の高低差なし。
- 2) 建物 駐車にかかわるスペースは全体構想の中で扱いを考える。
 - 用途……住宅
 - 面積……建築面積及び延べ床面積は定めない。
 - 構造……木造2階建て 最高高さ13m
 - 留意点……家族構成を想定して所用室を決める事。コンセプトを明確にする事。その他の法規制は適用しない。
- 3) 提出図面
 - 用紙……当協会配布のケント紙（B2サイズ）一枚を使用し横使いとするが、サイズが同じであれば応募者で準備した用紙でも可。
 - 提出内容……設計主旨 課題にふさわしいイメージを膨らませるタイトルを付けるとともに設計コンセプトを明確に表現する事。タイトル文字は必要以上に目立たせる事はない。何が表現として重要なかを考える事）
 - ・配置図（1/300）・平面図（1/100）・立面図（1/100）・断面図（1/100）
 - ・外観パース（模型写真を添付する事は可とするがパースに代替する事は不可）
 - 条件……必ず手書きとする。CGは不可、但し文字数字については、印字シート貼り等可とする。模型写真の添付や着色は自由。図面には面積表（必ずしも枠取りする必要なし）、方位、縮尺、寸法及び寸法引き出し線、室名を正しく記入する事
 - ※与条件は必ず守る事。与条件以外は自由に判断する事。

応募校と
応募数

有明工業高等専門学校（1年～3年）	作品数	35点
浮羽工業高等学校	"	8点
戸畑工業高等学校	"	4点
博多工業高等学校	"	7点
計 4校		54点

個人賞

● 知事賞	……浮羽工業高等学校	（3年	加藤 優進	
● 福岡県教育委員会賞	……浮羽工業高等学校	（3年	熊本 亮斗	
● 北九州市長賞	……有明工業高等専門学校	（3年	中園 留菜	
● （一財）福岡県建築住宅センター理事長賞	……浮羽工業高等学校	（3年	外本 大宜	
● 会長賞	……博多工業高等学校	（3年	彌吉 彩	
● （公社）福岡県建築士会会長賞	……有明工業高等専門学校	（3年	李 基全	
● （公社）日本建築家協会九州支部支部長賞	……有明工業高等専門学校	（3年	チンゾリグミチドマー	
● 優秀賞	……浮羽工業高等学校	（3年	中垣穂乃花	
"	……有明工業高等専門学校	（3年	川西健太郎	
● 佳作	……戸畑工業高等学校	（3年	石丸 紗夜	
"	……戸畑工業高等学校	（3年	榎田 花	
"	……有明工業高等専門学校	（3年	椎山 花菜	
● 奨励賞	……有明工業高等専門学校	（3年	黒田 萌香	
"	……有明工業高等専門学校	（3年	西村 美歩	

※敬称略/順不同

団体賞

浮羽工業高等学校

平成30年度 課題

『あなたの同窓会会館の計画』

計画趣旨

共通するテーマは縁（えん）です。「袖すりあうも他生の縁」と使うように縁とは人と人の出会いの大切さを示す言葉でもあります。縁には主に地縁、血縁、職業縁、学校縁、社会縁の五つがあります。「縁起でもない」の縁で非科学的とも思える言葉ですが、最終的に説明がつかない時にしばしばここに落ち着きます。縁はふちとも読みます。縁（ふち）は極めて大事な概念です。内と外とを結びつけるのも縁（えん）であり、その境界は縁（ふち）でもあります。

五つの縁の中で希薄になったとは言え地縁、血縁による人の付き合いはかろうじて保たれています。職業縁は、現役中は付き合いがあっても定年退職すると疎遠になってしまうようです。社会縁も、例えば趣味などの同好会的なものも歳をとると縁が薄れていくようです。案外長続きするのが学校縁だと言われます。同窓会を例にとるとよく判ると思います。

スマホなどによる安易な結びつき、間接的な会話社会は種々の犯罪も含めて問題を引き起こしています。人と人の結びつきが変質してきている今日、新たな視点で積極的な利用を考えた同窓会会館を計画してください。

計画条件

- 1) 敷地 敷地は具体的に選択した学校の敷地内または隣接地（道路を挟んでも良い）の適切な場所に所定の面積を確保し計画する。ただし6m幅以上の公道に4m以上の幅で接道するように敷地形状を考える事。学校敷地内、あるいは隣接地へのプロットは歩測程度の精度で良い。
 - 面積……………600㎡以内（形状は選んだ敷地で自由に設定）
 - 用途地域……………住居地域（60/200）
 - 接道条件……………6m道路に4m以上の幅で接する事（凡例図示）
 - その他……………上下水道は完備し受電は前面道路から可能と仮定する。敷地の高低差は具体的な選択敷地による。駐車スペースは管理用及び搬入車用として各1台のスペースを確保する。設定した敷地の環境が判るように周辺建物植栽なども表記する。
- 2) 建物
 - 用途……………同窓会会館
 - 面積……………建築面積及び延べ床面積は定めない。
 - 構造……………自由（階数などから想定する事）
 - その他……………同窓とする学校の区分は問わない。拡張した用途も可とし地域への貢献も考える。コンセプトを明確にする事。その他の法規制は適用しない。
- 3) 提出図面
 - 用紙……………当協会配布のケント紙（B2サイズ）一枚を使用し横使いとするが、サイズが同じであれば応募者で準備した用紙でも可。
 - 提出内容……………設計主旨、課題にふさわしいイメージを膨らませる適切なタイトルを付けるとともに設計コンセプトを明確に表現する事。
 - ・位置図（縮尺は問わない、学校施設との関係が判る事）
 - ・配置図（縮尺は適宜）
 - ・平面図（1/200）
 - ・立面図（1/200）
 - ・（1/200）平面図に切斷箇所を明示
 - ・外観パース（CG、模型写真に代える事も可）（通り側から見たアングル等コンセプトが判るように）
 - 条件……………CGも可、模型写真の添付や着色は自由、図面には面積表、方位、縮尺、寸法及び寸法引き出し線、室名を正しく記入する事。
 - ※与条件は必ず守る事。与条件以外の事は自由に判断する事。

応募校と
応募数

麻生建築&デザイン専門学校	作品数	40点
九州職業能力開発大学校	"	5点
福岡建設専門学校	"	19点
福岡デザイン専門学校	"	5点
計 4校		69点

個人賞

- 知事賞……………麻生建築&デザイン専門学校（3年 内田 大貴）
- 福岡県教育委員会賞……………麻生建築&デザイン専門学校（2年 澤山亜憂香）
- 北九州市長賞……………福岡デザイン専門学校（2年 崔 暎浩）
- (一財)福岡県建築住宅センター理事長賞……………福岡デザイン専門学校（2年 吉谷 勇輝）
- 会長賞……………福岡建設専門学校（2年 松永 晋弥）
- (公社)福岡県建築士会会長賞……………麻生建築&デザイン専門学校（3年 東 ひかり）
- (公社)日本建築家協会九州支部支部長賞……………麻生建築&デザイン専門学校（3年 中野 雄太）
- 優秀賞……………九州職業能力開発大学校（2年 大貝 莉穂）
- "……………麻生建築&デザイン専門学校（2年 福田 大貴）
- "……………麻生建築&デザイン専門学校（2年 吉田 光輝）
- 佳作……………麻生建築&デザイン専門学校（2年 古賀 智子）
- "……………麻生建築&デザイン専門学校（2年 小林 裕貴）
- "……………麻生建築&デザイン専門学校（2年 矢岡 謙一）
- "……………麻生建築&デザイン専門学校（3年 古木 百花）
- 奨励賞……………麻生建築&デザイン専門学校（2年 半田 明）
- "……………麻生建築&デザイン専門学校（2年 宮本 邑磨）
- "……………麻生建築&デザイン専門学校（3年 ティンジュライイェ）
- "……………福岡デザイン専門学校（3年 内山 直紀） ※敬称略/順不同

団体賞

麻生建築&デザイン専門学校

■ 高等学校の部 課題

近所付き合いを豊かにする戸建て住宅

■ 専門学校の部 課題

あなたの同窓会会館の計画

今回の共通テーマ「縁」は袖すりあうも他生の縁と使う時の「えん」はあまり科学的に説明できるものではありませんが、「ふち」の意味でとらえた時はより具体的になってきます。そこで高等学校の課題は縁をふち＝境界ととらえる場合を主題にしています。私と社会、私と家族、敷地の内と外、家の中と外、それぞれの境界沿いについて思考する課題です。課題文にも述べたようにこの境界沿いの変質が地域のコミュニティの変質の一つの要因になっています。高い土塀に囲まれた武家屋敷などはもともと地域社会とは隔絶されていましたが庶民の家町屋は違っていました。車社会になってからは、駐車スペースとして公道に面し広いスペースを占拠する事になり、街並み景観も含めて大きな影響を与えています。専門学校の方は縁の中でも学校縁と言うことを主題にしつつ同窓会館の機能の拡張を含めての課題でした。

今年初めて審査委員長を務めさせていただきましたが、建築実務者及び教育建築行政関係者等多数の人による事前の予断なしの投票による審査のため、極めて順当且つ公平な結果が出ているように思います。残念ながら受賞できなかった人も受賞者も他の作品を見て講評なども熟読し糧にさせていただきたいと思います。

私はいろいろな審査に参加していますが、常に出題者や審査員が審査されるものだと思っています。大学で学生を指導してきましたが指導者も同じです。学生の作品を通して指導方針や指導者が問われているのだと謙虚に思うことから教育は始まるのだらうと思っています。このコンペが建築設計のもつ知的操作と具体的形態化そしてビジュアルな表現と言う総合学問に対してその面白さを再認識する機会になればと思っています。

実務者の中にも多くなっているのですが、模型で発想したりスタデーする事が少なくなってきました。限られた技術力ではデータを入力して作業していくプロセスからはどうしても常識的結果となりがちで創造性に欠けてきます。その意味では作業プロセスそのものにも言及する必要があると思います。

多様に解釈できる課題ながら果敢に取り組んでいただいた学生諸君、そしてそれぞれの個性を引き出しながらご指導いただいた先生の皆さんに厚く御礼を申し上げます。

高等学校の部 総評

全体に思考の中心が縁(えん)の方に重点が置かれていたようです。むしろ具体的な建築領域で考えられる「ふち」＝境界＝中間領域への具体的問いかけ建築的操作の方が取り組み易かったと思うのですが、そこへの執拗な考察が希薄だったように思います。いろいろに解釈できるテーマで少し設問が難しかったかもしれませんが、良く縁と言う言葉を考えて何とか良い案を引き出そうと努力している事は判ります。もっと素直に道路、隣地境界沿いつまり塀や駐車スペースや門扉、物置と言った具体的部位領域に入り込み、新たな解釈や知的操作を加えた建築的提案があっても良かったのではないかと思います。宮崎の日向の美々津の町屋には、道路を歩く人が一休みできる「ばんこ」(ポルトガル語で長椅子の意味)が折りたたみ式でついています。集合住宅でもコミュニティの発生をもくろんだ廊下側にリビングを持ってくるリビングアクセスタイプなどが現実にあるくらいなので戸建住宅では境界沿いでもっといろいろ考えられるはずですが。

専門学校の部 総評

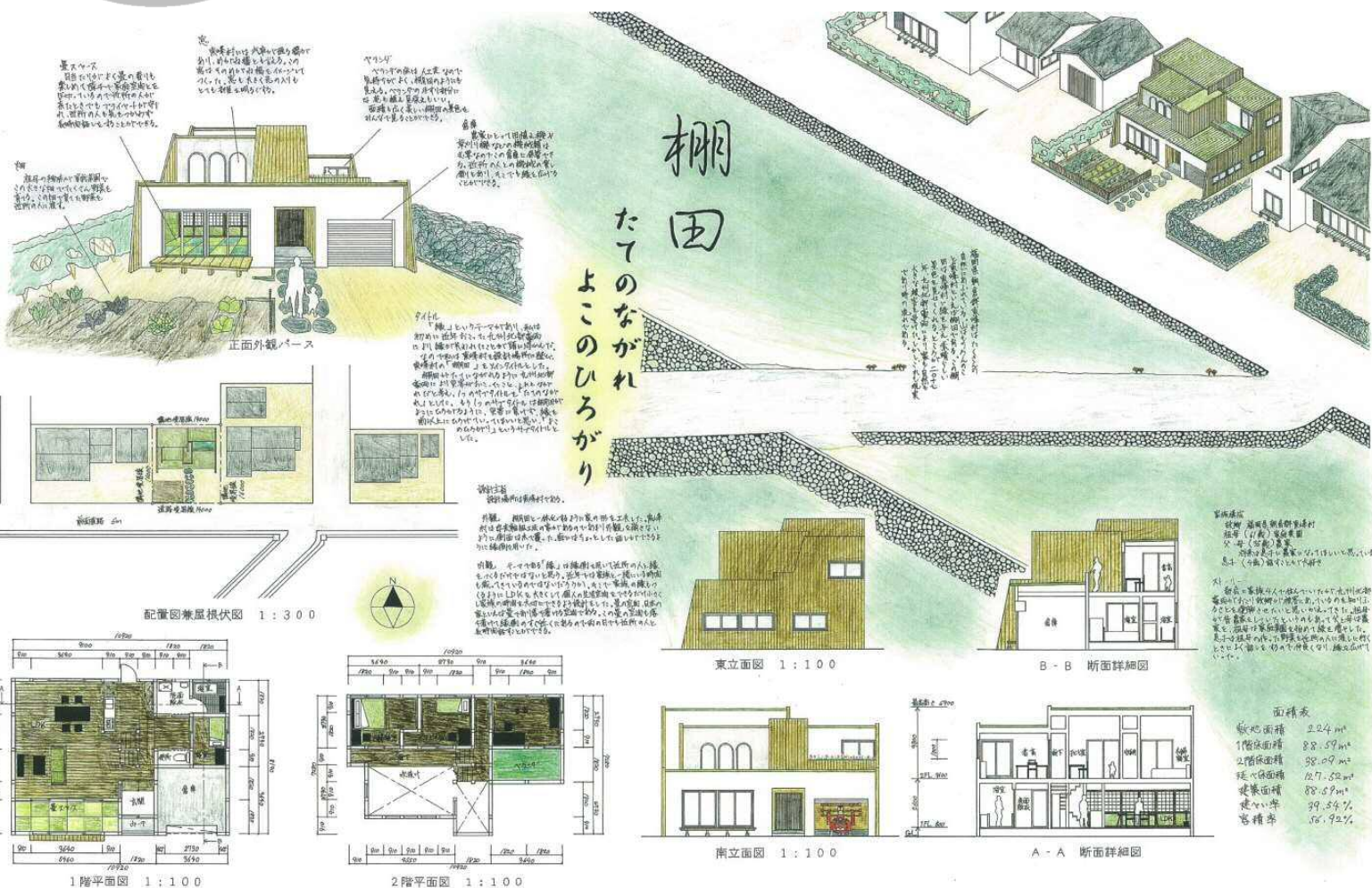
同窓会館は建築の持つ特性—空間・時間の中で特に時間に注目することが手掛かりになります。同じ場所で違う時間を共有した人たちが何を求めて集まるか。時間の連続と断絶、時間軸に対する問いかけがヒントになります。作品の中に機能としてチャペルが付随しているものがありましたが、卒業した学校がミッションスクールだったのか図面からは読み取れません。廃校という言葉が出ているものもありました。良い視点が出ているのにそれを生かしてない。その言葉に内在する深い意味や展開の可能性が読み切れていないのが残念です。縁—ふち(淵)、きわ(際)—際物—魔界—異空間と連想したり、課題文に述べたように血縁、地縁、学校縁、会社縁、社会縁と言ったように連想していく。言葉は発想の手掛かりになるとともに、このようなパネルで他者に伝達する上での大事な要素です。CGIによる目立つ形態表現に陥らないように注意が必要です。

受賞作品紹介

— 高等学校の部 —

知事賞

浮羽工業高等学校 3年 加藤 優進



講評

記憶に新しい九州北部豪雨被災による住民間の縁の断絶への危惧を発想の原点としており時代性を踏まえた案です。棚田から落ちる縦の水の流れと棚田の横のつながりと言う視覚的情景を連想させる秀作です。惜むらくは計画する住居の塀や外壁に野面石などを配しつつ住戸間の連続性をも表現できるとより意図が伝わったと思われます。

受賞者コメント

私は、この設計競技で作品を制作するにあたり、知事賞をとることを目標に頑張ってきました。毎年、先輩方が様々な賞を頂いていたので、今年も先輩方のように賞を頂ける作品を創らなければならないというプレッシャーを感じることもありました。ですので、結果を聞いたときに、審査員の方々に高い評価を頂けたのだと、とても嬉しく思いました。作品が完成したときは、とても達成感があり、制作するうえで様々なことが学べたので、今後も日々努力し、成長していきたいと思えます。

浮羽工業高等学校 建築科 3年 加藤 優進



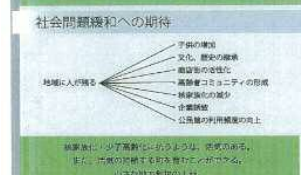
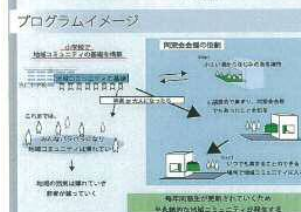
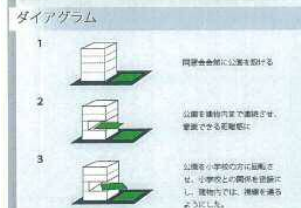
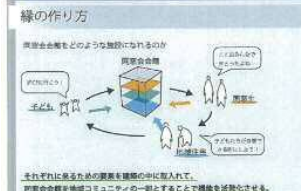
受賞作品紹介

— 専門学校の部 —

知事賞

麻生建築&デザイン専門学校 3年 内田 大貴

半永続的コミュニティの育て方



計画地

麻生建築&デザイン専門学校に町並みと人権保障の視点を加える。そこで小学校敷地内にあるファーストと周りに合わせた3つの階層での同窓会館を計画した。

1F まちづくり会議所

1階はまちづくり会議所という地域住民に向けた部屋。2階は同窓生が活躍できるような空間。3階は同窓生が活躍できるような空間。4階は同窓生が活躍できるような空間。

2F 公園

この公園は、同窓生が活躍できるような空間。公園の上層階は子供が遊ぶ小公園（庭を置く）。公園の下層階は、同窓生が活躍できるような空間。

3F 中高生用同窓会室

3階は同窓生が活躍できるような空間。中高生が活躍できるような空間。

4F 大人用同窓会室

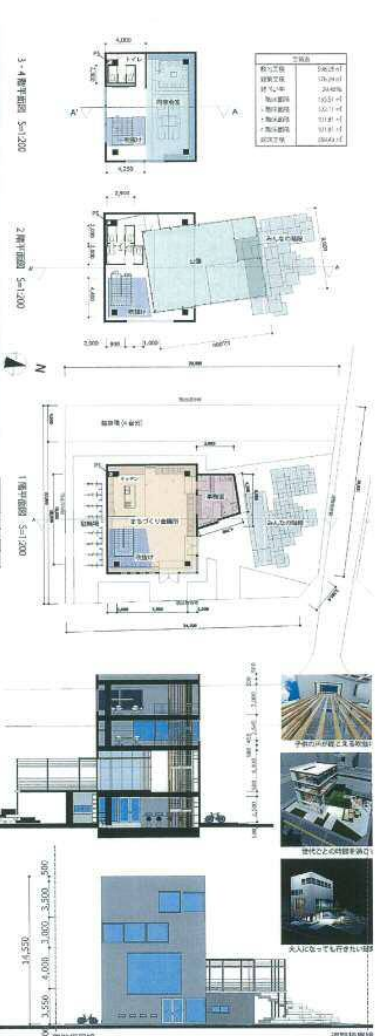
4階は大人が活躍できるような空間。大人が活躍できるような空間。

4本の柱

同窓会館の4本の柱は、同窓生が活躍できるような空間。同窓生が活躍できるような空間。

「当仁」に建てる思い

同窓会館の「当仁」に建てる思い。同窓生が活躍できるような空間。



講評

地域コミュニティをこの建物によって循環させていくというもので、その仕掛けとして公園(子供の公共空間)を建物に貫入させその利用の中で同窓生が町や子供を思い起こすという計画です。ダイアグラム、プログラムイメージ、利用グラフ等極めて進め方が理路整然としています。社会問題への視点も述べられ建築的にも角度を振って公園空間を挿入させるなど建築手法としてもセンスが感じられます。図面表現も全体にバランスがとれ極めて完成度の高い秀作です。



受賞者コメント

この度は、「知事賞」を頂けたこと、大変光栄に思います。このコンペでは、こんなに建築をつくる技術が上がりながらも、地域への愛着は貧しくなるばかりの現状に危機感を感じ、地域愛の溢れる場所・建築づくりを考えました。将来は、私の作る建築の一つひとつがその場所を少しずつ豊かな環境にできるような好かれ使われる建築を作っていきたいです。

麻生建築&デザイン専門学校 建築工学科3年 内田大貴

平成30年度
年次功労者表彰受賞者の報告

副会長 早田 倫明 氏

(株)雅禧建築設計事務所（福岡地域会）
会務代表者

当協会の運営並びに事業の実施に関して著しい功績を挙げ、日事連の発展に寄与された功績により、平成30年度年次功労者表彰を受賞されましたのでご報告いたします。

平成30年
秋の褒章 黄綬褒章受章者の報告

常任理事 八島 英孝 氏

(株)志賀設計（福岡地域会）
会務代表者

多年にわたり国土交通関係業務に精励された功績により、平成30年秋の褒章で黄綬褒章を受章されましたのでご報告いたします。



4

平成30年度 日事連九州・沖縄ブロック協議会 第1回会長会議報告

1. 日 時 平成30年10月29日(月)11:00 ~ 13:00

2. 会 場 福岡建設会館7階701会議室

3. 出席者 【福岡会】 岩本 茂美 会長、 西 洋一 副会長、 早田 倫明 副会長、 高巢 光男 副会長、
林 カツ子 副会長、 中山 俊治 副会長、 八島 英孝 常任理事、 奥村 俊孝 常任理事、
小西 満洋 事務長

【佐賀会】2名 【長崎会】1名 【熊本会】2名 【大分会】2名 【宮崎会】1名 【鹿児島会】5名 【沖縄会】2名

4. 議 事
- 1. 防火設備定期検査報告制度が創設されたことに伴う業務報酬について 【長崎会】
 - 2. 解体工事における業務委託費算定について 【長崎会】
 - 3. 九州・沖縄ブロック協議会青年部会活動の支援について 【熊本会】
 - 4. 設計、監理業務仕様書における業務内容の明確化について 【熊本会】
 - 5. 2012年の全国大会に向けた取組について 【熊本会】
 - 6. BIM活用を前提とした設計業務の発注事例について(照会) 【沖縄会】
 - 7. 設計業務における電子納品への対応状況について(照会) 【沖縄会】
 - 8. プロポーザル方式による設計者選定について 【鹿児島会】
 - 9. 建築設計等業務委託に係る最低制限価格の設定について 【鹿児島会】



5

九州設計3団体懇談会報告

1. 日 時 平成30年10月29日(月) 14:30 ~ 17:30

2. 会 場 ANAクラウンプラザホテル福岡 2階 シャンパーニュ

3. 出席者 国土交通省九州地方整備局建政部 石井秀明住宅調整官
 (公社)日本建築士会連合会、(一社)日本建築士事務所協会連合会、
 (公社)日本建築家協会、(一社)日本建築構造技術者協会、
 (公社)日本建築積算協会の九州地区
 の各単位会、支部、地域会の27団体より49名参加

4. 次 第

- 1. 挨拶
- 2. 出席者紹介
- 3. セミナー
 - ①「災害時における、設計関係団体の対応・役割と連携について」 (一社)宮崎県建築士会
 - ②「歴史的建築物の活用に向けた条例整備ガイドライン」についての解説
 国土交通省九州地方整備局建政部 石井秀明住宅調整官
 (公社)日本建築家協会九州支部大分地域会
 - ③「中大規模の木質建築について」
- 4. 報告事項
 - (1)建築士資格制度について (一社)福岡県建築士事務所協会
 - (2)告示15号について (一社)福岡県建築士事務所協会
- 5. 懇談会
 - ①「災害対策についての事前協議について」 (一社)長崎県建築士会
 - ② 若い建築士の育成について (一社)熊本県建築士事務所協会
 「熟練、経験のある建築技術者(設計・施工・行政)の減少傾向について
 (公社)日本建築家協会九州支部熊本地域会
 - ③「情報プラットフォームの構築」 (公社)日本建築家協会九州支部大分地域会
- 6. 閉会

九州ブロック設計3団体懇親会

■ 日 時 平成30年10月29日(月) 17:30 ~ 19:30

■ 会 場 ANAクラウンプラザホテル福岡 2階 ウィステリア
 福岡市博多区博多駅前3-3-3



6

第42回 建築士事務所全国大会開催報告

大会テーマ

未来に繋ぐ

大会宣言

私たち建築士事務所は、これからの時代に備えた広い視野に立ち、建築界を取巻く社会情勢の変化に力強く向きあい、互いに連携し社会への責任を果たします。働き方と生産性を改革し建築士事務所の承継に努め、最先端技術を活用し知識・技術・創造性を高め、これからの社会の発展に貢献することを宣言します。

開催日

平成30年10月5日(金)

会場

帝国ホテル(東京都千代田区内幸町1-1-1)

- 講演、パネルディスカッション等、大会式典…… 3階・富士の間
- 記念パーティ…… 2階・孔雀の間
- 日事連建築賞受賞展示 …… 3階・富士の間 前室

TKP新橋カンファレンスセンター(東京都港区西新橋1-15-1)

- 青年話創会2018 …… 2階・ホール2A

スケジュール

- TKP新橋カンファレンスセンター
10:00～13:00 青年話創会2018(意見交換及び発表等)
- 帝国ホテル
12:00 登録受付、日事連建築賞作品展
13:30～15:30 講演、パネルディスカッション
「建築が変わる/仕事が変わる」
講師:建築家・青木茂さん
・パネリスト:青木茂さん(前出)
・ // :竹中工務店・石澤幸さん
・ // :一級建築士小林建築事務所・小林範子さん
・コーディネータ:建築ITジャーナリスト・家入龍太さん
- 16:00～17:10 大会式典
日事連建築賞表彰、年次功労者表彰等
- 17:30～19:00 記念パーティ

福岡会参加人数

福岡地域会11名、北九州支部5名、県南支部7名、筑豊支部2名、事務局1名
合計26名参加

7

会議のご報告

平成30年度 第7回常任理事会・第3回理事会

第7回 常任理事会

日時 平成30年10月9日(火)13:30~15:15

会場 一般社団法人福岡県建築士事務所協会事務局

出席者 会長、副会長、常任理事、支部長、事務長の14名参加

議題

1. 協議事項

- [1] 第3回理事会の進行、説明担当者、議題の確認
- [2] 九州・沖縄ブロック協議会第1回会長会議の開催について
- [3] 平成30年度第1回設計三団体意見交換会の開催について
- [4] 福岡県優秀施工者知事顕彰受賞者の選考について
- [5] その他

2. 報告事項

- [1] 構造設計等に関する意見交換会参加報告
- [2] その他

3. その他

- [1] 次回会議等日程
- [2] その他

第3回 理事会

日時 平成30年10月9日(火)15:30~17:00

会場 福岡建設会館 7F会議室

出席者 理事会構成者数 20名 / 出席者数 19名

議題

1. 審議事項

- [1] 2018・2019年度委員会編成について
- [2] 新入会員の承認、退会会員の報告(理事会決議事項)
- [3] その他

2. 協議事項

- [1] 学校施設におけるブロック塀等の安全点検調査等状況調査業務委託について
- [2] 県営住宅における既存ブロック塀等の点検調査(内部調査)業務委託について
- [3] 熊本市戸建木造住宅耐震診断等の今後の対応について
- [4] 平成30年度建築士事務所キャンペーンについて
- [5] その他

3. 報告事項

県本部関係報告

- [1]表彰受賞者報告
 - ・平成30年建設事業関係功労者等国土交通大臣表彰
 - ・平成30年度日事連年次功労者表彰
- [2](一財)福岡県建築住宅センターからの設計業務等実態調査業務について
- [3]北海道胆振東部地震義援金の送付について
- [4]第42回建築士事務所全国大会(東京開催)参加報告
- [5]青年話創会2018東京開催参加報告
- [6]女性部会研修・見学会実施について
- [7]京都会等との青年部・女性部交流会について
- [8]平成30年度適合証明技術者業務受付及び講習実施報告
- [9]平成30年度既存住宅状況調査技術者講習会開催について
- [10]BIM研修会について
- [11]法定講習(建築士定期講習、管理建築士講習)関係実施報告、実施計画について
- [12]福岡県内高等学校生並びに専門学校生による建築設計競技審査会の開催について
- [13]ホームページの改定について
- [14]平成30年度地方公共団体等への共同要望運動の実施について
- [15]建築士資格制度の改善に関する共同提案について
- [16]九州設計三団体懇談会・セミナーの開催について
- [17]福岡県建築登録センター受付件数及び売上げ報告
- [18]平成30年度年間スケジュール
- [19]委員会開催報告
 - ・総務・財務委員会／会員委員会／事業委員会／広報・渉外委員会／教育・研修委員会／住宅委員会／技術委員会
- [20]支部・地域会報告
 - ・北九州支部、筑豊支部、福岡地域会、県南支部、大牟田支部
 - ・支部・地域会間交流実施報告
- [21]長崎会との交流会実施報告

日事連及び九州・沖縄ブロック協議会関係報告

- [1]日事連第129回全国会長会議・第66回定時総会開催報告
- [2]日事連9月常任理事会報告
- [3]平成30年度九州・沖縄ブロック協議会通常総会・協議会等の開催報告
- [4]九州・沖縄ブロック協議会青年部協議会開催報告
- [5]その他

その他

- [1]次回理事会開催日程について
- [2]その他

平成30年度 第8回常任理事会報告

日時 平成30年11月13日(火)15:00~17:15

会場 一般社団法人福岡県建築士事務所協会事務局

出席者 会長、副会長、常任理事、事務長の10名参加

議題

1. 協議事項

- [1] 学校施設におけるブロック塀等の安全点検調査等状況調査業務委託について
 - ① 2次調査実施報告
 - ② 改修工事設計業務について
- [2] 県営住宅における既存ブロック塀等の点検調査(内部調査)業務委託について
- [3] 設計業務実態調査及び建築計画概要書調査業務委託について
- [4] 2019年度通常総会日程・会場について
- [5] 建築士事務所キャンペーンについて
 - ① 2018年度開催報告
 - ② 2019年度開催日、開催地、会場について
- [6] 2018年度福岡県内高等学校生並びに専門学校生による建築設計競技について
- [7] 女性部会「熊本城復興見学会」の開催について
- [8] 京都会、兵庫会、愛媛会との青年部会、女性部会交流会について
- [9] BIMに関する実務研修会の開催について
- [10] ホームページの改定について
- [11] 教育・研修委員会担当による研修見学会の実施について-
- [12] 各種依頼について
 - ・「改訂-既存建築物の吹付けアスベスト粉じん飛散防止処理技術指針・同解説2018」講習会に対する共催依頼について【(一財)日本建築センター】
 - ・第5回「建築構造用鋼材と利用技術セミナー」に対する後援名義使用承諾について【(一社)日本鉄鋼連盟】
 - ・業界新聞社からの新春広告のお願いについて
- [13] その他

2. 報告事項

- [1] 平成30年秋の褒章受章者について
- [2] 九州設計三団体懇談会開催報告
- [3] 協会ゴルフコンペ開催報告
- [4] 既存住宅状況調査技術者講習開催報告
- [5] 法定講習(建築士定期講習、管理建築士講習)関係実施報告、実施計画について
- [6] 指定事務所登録機関関係報告
- [7] 日事連九州・沖縄ブロック協議会第1回会長会議開催報告
- [8] 建築士事務所協会全国会長会議開催について
- [9] その他

3. その他

- [1] 次回会議等日程
- [2] その他

平成30年度 第9回常任理事会・第4回理事会

第9回 常任理事会

日時 平成30年12月11日(火)13:30~15:15

会場 一般社団法人福岡県建築士事務所協会事務局

出席者 会長、副会長、常任理事、支部長、事務長の15名参加

議題

1. 協議事項

- [1] 第4回理事会の進行、説明担当者、議題の確認
- [2] 行政、関係団体への新年挨拶廻り及び次回常任理事会の日程について
- [3] 2019年秋の叙勲・褒章候補者の推薦準備について
- [4] 2019年建設事業関係功労者等国土交通大臣表彰候補者の推薦準備について
- [5] 日事連からの平成31年度共同要望運動に関するアンケートについて
- [6] ブロック塀改善事例パンフレットへの当協会相談窓口の掲載について
- [7] パート職員の退職及び今後の対応について
- [8] 職員冬季賞与の支払いについて
- [9] 職員冬期休暇について
- [10] 関係団体賀詞交換会等参加者について
- [11] その他

2. その他

- [1] 次回会議等日程
- [2] その他

第4回 理事会

日時 平成30年12月11日(火)15:30~17:00

会場 福岡建設会館 7F会議室

出席者 理事会構成者数 20名 / 出席者数 17名

議題

1. 審議事項

- [1] 新入会員の承認、退会会員の報告(理事会決議事項)
- [2] その他

2. 協議事項

- [1] 福岡県からのブロック塀等の安全点検調査等状況調査業務委託について
 - ① 県学校施設におけるブロック塀等の安全点検調査等状況調査業務委託について
 - ② 県営住宅における既存ブロック塀等の点検調査(内部調査)業務委託について
 - ③ 県警施設におけるブロック塀安全点検調査等業務委託について
 - ④ 県有施設におけるブロック塀等の安全点検調査等業務(第2段階安全点検)業務委託について
- [2] 平成30年度中間監査報告
 - ① 平成30年度中間会計状況について
 - ② 平成30年度中間監査報告
- [3] 2019年度建築士事務所キャンペーン主管支部について
- [4] その他

3. 報告事項

県本部関係報告

- [1]平成30年秋の褒章受章者報告
- [2]2019年度通常総会日程・会場について
- [3]平成30年度建築士事務所キャンペーン開催報告
- [4]平成30年度福岡県内高等学校生並びに専門学校生による建築設計競技について
- [5](一財)福岡県建築住宅センターからの設計業務等実態調査業務について
- [6]熊本市戸建木造住宅一般耐震診断報告
- [7]京都会、兵庫会、愛媛会との青年部会、女性部会交流会開催報告
- [8]女性部会「熊本城復興見学会」開催報告
- [9]青年部会開催報告
- [10]会員ゴルフコンペ開催報告
- [11]BIMに関する実務研修会の実施について
- [12]平成30年度福岡県知事指定「開設者・管理建築士等のための建築士事務所の管理研修会」開催について
- [13]既存住宅状況調査技術者講習開催報告
- [14]法定講習(建築士定期講習、管理建築士講習)関係実施報告、実施計画について
- [15]ホームページの改定について
- [16]教育・研修委員会担当による研修見学会の実施について
- [17]九州設計三団体懇談会開催報告
- [18]総合資格学院との講座割引支援に関する提携について
- [19]福岡県建築登録センター受付件数及び売上げ報告
- [20]平成30年度年間スケジュール

支部・地域会報告

・北九州支部、筑豊支部、福岡地域会、県南支部、大牟田支部

日事連及び九州・沖縄ブロック協議会関係報告

- [1]建築士法の一部を改正する法律の可決・成立について
- [2]日事連第130回全国会長会議・政経フォーラム開催報告
- [3]日事連12月理事会報告
- [4]平成30年度九州・沖縄ブロック協議会第1回会長会議開催報告

その他

- [1]次回理事会開催日程について
- [2]その他

北九州支部からのお知らせ

10月 幹事会 議事録

日時 平成30年10月4日(木)14時～

場所 戸畑生涯学習センター

参加者 久松、高崎、小野、林、金子、久保、藤本、豊川、望月、平野

- ▶ **議事 1. 児童絵画展について**
 - 10月20日の児童絵画展表彰式においての人員配置、当日の最終確認
- ▶ **議事 2. 建築士事務所協会キャンペーンについて**
 - 司会者選考 プロとする
 - 10月31日～11月6日までの設計図展示ー市民ギャラリーの当番決め
学生アルバイトで対応する
 - 懇親会会場決め
 - 北九州市長の参加が決定
 - 10月26日に臨時幹事会を開催
- ▶ **議事 3. その他**
 - 西部ガス(株) PRタイム

■ 児童絵画展 選考会

日時：平成30年10月4日(木) 15時～
場所：戸畑生涯学習センター
 参加小学校 37校 659作品
 各賞の選考を行う。



■ 児童絵画展 表彰式

日時：平成30年10月20日(土)
 10時30分～11時30分
場所：COMCITY7階
 北九州市立子どもの館子どもホール
 作品の展示、各賞表彰式の開催



10月 臨時幹事会 議事録

日時 平成30年10月26日(金)17時～

場所 (株)トーケン設計

参加者 久松、高崎、小野、林、金子、柳井、高嶋、藤本、平野、末次、森岡、原田、喜多、千葉

▶ 議事 1. 建築士事務所協会キャンペーンについて

- 役割分担について
…各役割の再確認
- 賛助会ブースについて
…賛助会ブースの配置の区分け決め
…当日の担当者との確認

▶ 議事 2. その他

- 児童絵画展の総括
- 絵画作品の返却

11月 定例幹事会 議事録

日時 平成30年11月8日(木)16時～

場所 西部ガス(株) ひなた

参加者 久松、高崎、山本、小野、金子、藤本、豊川、金田

▶ 議事 1. 冬の例会について

- 12月7日(金)18時より、菜'sにて行う。

▶ 議事 2. 六団体 賀詞交歓会について

- 平成31年1月10日(木)18時より、クラウンパレス小倉において開催する。

▶ 議事 3. その他

- 退会報告

福岡地域会からのお知らせ

第3回会員集会・忘年会を開催いたしました

平成30年12月3日(月)TKPガーデンシティ博多
■会員集会 / 午後5時20分～午後6時15分
■忘年会 / 午後6時30分～午後8時30分

TKPガーデンシティ博多にて忘年会を開催いたしました。初めての会場でしたが広く明るいフロアで皆さま自由にテーブルを歩き来しながら、年の瀬のご挨拶とお話に花を咲かせていらっしゃいました。



平成最後の忘年会、皆さまにとって賑やかな締めくくりになりましたら嬉しく思います。

「建築関連法規の改正等」講習会を行いました

平成30年10月31日(水) 13:30～16:35 福岡建設会館 7階会議室にて

福岡市住宅都市局および消防局より講師をお招きし、最近の法規改正等についてお話を頂きました。100名を超える方にご参加いただき、法規改正への皆さまの関心の高さを伺うことの出来る講習会となりました。

- 天神ビッグバンについて
- 建築基準法の改正について(集団規定)
- 既存ブロック塀の点検等について
- 消防法令違反の事前予防について
- 建築基準法の改正について(単体規定)
- 福岡市の狭あい道路の拡幅整備事業について
- 消防行政の動向



県南支部からのお知らせ

県南支部 研修旅行のご報告

11月22～23日、事業委員会の企画による、会員相互の親睦を深めることを目的とした「研修旅行」が行われました。

会員・賛助会員あわせて20名程度の参加により山口・萩方面へ向かいました。1日目は北九州市TOTOミュージアムにてトラフ展を見学し、下関市川棚にて昼食。



トラフ展



出席者

その後萩へと移動し、「萩浜崎重要伝統的建造物保存地区」をボランティアガイドの方に案内して頂き巡りました。

北前船の寄港地であり萩藩の経済を支えた浜崎の歴史的建造物を見学しました。散策中に出逢った明倫小学校3年生の生徒さんによる「吉田松陰先生のことば」の唱和が披露され、現在でも藩校明倫館の精神が受け継がれていることに感心しました。



久坂玄瑞進撃像にて



高杉晋作像にて

萩を後にし、山口市まで移動し湯田温泉に宿泊。懇親会にて多岐業種の会員・賛助会員の情報、意見交換がなされました。

2日目は国宝瑠璃光寺の五重塔、菜香亭、そして雪舟邸を見学。
紅葉深まる自然と織りなす伝統的木造建築物と歴史に触れる事が出来ました。



雪舟庭



菜香亭



瑠璃光寺五重塔にて

その後、毛利庭園、毛利博物館を見学し帰路となりました。
幕末の歴史に多大な影響を残した長州藩、そして多くの総理大臣を輩出した山口県の歴史と文化の一端に触れる事が出来た有意義な研修旅行となりました。

県南支部 広報・渉外委員会 木村 昭文

大牟田支部からのお知らせ

幹事会のご報告

H30年度 第7回

平成30年10月30日(火) 18:00～

場 所 事務局会議室

出席者 高巢、宗正、中野、永江、水町

■ 1. 協議事項

- ①建築士事務所キャンペーンについて (11/2 北九州)
- ②見学旅行について (11/30～12/2 四国)
- ③その他

■ 2. 報告事項

- ①10月2日(火) ●ブロック塀説明会 出席者:高巢
- ②10月5日(金) ●第42回建築士事務所全国大会
- ③10月9日(火) ●第7回常任理事会
●第3回理事会
- ④10月11日(木) ●建築設計競技審査会
- ⑤10月29日(月) ●九州・沖縄ブロック協議会
●第1回設計三団体意見交換会
- ⑥10月31日(水) ●改正建築基準法に関する説明会(大牟田市役所)
- ⑦その他

H30年度 第8回

平成30年11月26日(月) 18:00～

場 所 事務局会議室

出席者 高巢、宗正、中野、永江、水町

■ 1. 協議事項

- ①見学旅行について (11/30(金)～12/2(日) 四国)
- ②支部新年会について
・開催日時 平成31年1月12日(土) 18:00～
・場所 おしどり
- ③その他

■ 2. 報告事項

- ①11月2日(金) ●平成30年度建築士事務所キャンペーン
会場:リバーウォーク北九州6階小劇場
一部:基調講演-SDGsを目指して-
二部:3つの取組(BIM、CM、AI)
三部:設計競技表彰式
出席者:宗正氏、高巢
- ②11月13日(火) ●第8回常任理事会
- ③11月17日(土) ●女性部会見学会<熊本城復興見学会>
出席者:李
- ④11月18日(日) ●本田産業にまかせな祭 出席者:永江氏、高巢、李
- ⑤その他 ●見学旅行(11/30(金)～12/2(日) 四国)

H30年度 第9回

平成30年12月25日(火) 18:00~

場 所 事務局会議室

出席者 高巢、宗正、中野、永江

■ 1. 協議事項

①支部新年会について

- ・1月12日(土)18:00~ 於:おしどり(会費1,000円)
- 司会・開会のことば:中野氏 支部長挨拶
- 乾杯:アルアピア(株)瀧上氏 万歳三唱:荒木氏
- 閉会のことば:中野氏

②新春の集い出席者について

- ・1月18日(金) 於:ホテルニューガイアオームタガーデン
(会費:3,000円(支部負担))

③その他

■ 2. 報告事項

①12月11日(火) ●第9回常任理事会

●第4回理事会

●本部忘年会

②12月18日(火) ●学校施設におけるブロック塀等の安全点検調査等における反省会・慰労会
及び今後の監理業務についての説明会
(出席者:中野氏)

③12月19日(水) ●学校施設におけるブロック塀に関する打合せ

④12月25日(火) ●第5回青年部会

⑤その他

大牟田支部研修旅行

四国周遊3日間（平成31年11月30日～12月2日）

この旅は元々9月末のはずでしたが、台風直撃で延期になり今回になりました。

四国は初めてというメンバーもいて期待が膨らみます。初日、しまなみ海道を経て愛媛県へ。途中伯方の塩工場を見学、そして亀老山展望台にて、しまなみ海道の絶景を楽しんだ後、一路道後温泉へ。夏目漱石作「坊ちゃん」の舞台となった由緒ある温泉に入浴し、街並みを散策。明治時代の名残をとどめる雰囲気を楽しみました。

2日目は宇和島真珠会館に立ち寄り、その後高知県へ。四万十川遊覧で船上にて昼食。日本最後の清流と言われるだけあって、水の透明度には驚かされました。次に高知市内に入り、坂本龍馬記念館見学。世の中は西郷どんで沸いていますが、高知ではどこに行っても龍馬です。

3日目、最初は桂浜。ここには立派な龍馬の銅像がありました。高知県民謡のよさこい節では月の名所と唄われます。朝の事で月はありませんでしたが、風光明媚な景色が広がっていました。次に徳島県に入り、最初が祖谷のかずら橋でした。平家の落人にとっては生命線であったと思われそうですが、今となってはすっかり観光地化されて、あまり緊張感もありませんでしたが、深い谷底を足元の隙間から見ながら揺れる橋を渡りました。次は吉野川の急流大歩危にて昼食。同じく小歩危を見ながら最後の訪問地の香川県へ。海の守り神である金毘羅宮参拝にチャレンジ。石段785段に何とか老骨に鞭打って、無事参拝を済ませました。後は瀬戸大橋を渡り本州岡山へ。新幹線にて一路博多へ。のぞみでなかった為、途中待ち合わせばかりあり、博多着は22時37分。そしてJRにて大牟田へ。その時間では普通しか列車がなく、大牟田着は0時37分。3日の旅ではなく4日目に入っていました。

黒潮踊る太平洋

月と龍馬の桂浜



9

会員動静

新入会員のご紹介

事務所名 (株)ベスティック一級建築士事務所

■会務代表者：竹嶋 健生 ■所在地：福岡市南区大楠

福岡地域会に入会されました

事務所名 小澄工業二級建築士事務所

■会務代表者：小澄 幸夫 ■所在地：福岡市西区姪浜駅南

福岡地域会に入会されました

会社名 三和不燃ボード

■担当者：矢加部 尚武 ■所在地：筑後市溝口
■営業種目：不燃建材（内装材）

福岡地域会賛助会に入会されました

 <http://www.sanwaboard.co.jp/>

常任理事 金子 幸生さん(日建建設(株))



セブ島視察の話

常任理事（会計担当）の金子幸生です。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

昨年11月、九州翔経塾（不動産若手経営者の会）の有志でセブ島（フィリピン）に行ってきました。塾のメンバーである高城さんの発案で、株式会社タカギ（北九州市）の蛇口一体型浄水器カートリッジの交換など、日本国内からの問合せを受け付けるコールセンターと、その現地コールセンターで勤務する日本人スタッフが英語を学ぶ桐原グローバルアカデミーを視察しました。20代前半の若いスタッフが週に4日ほどコールセンターで勤務し、残りの3日は学校で英語を習得するという1年間のゼロ円留学への挑戦です。フィリピンの先生はほとんど日本語を使えないので英語のみの授業ですが、私も20分ほど個別指導を体験しました。月収から家賃と授業料を支払って（会社の補助あり）手取りが約7万円とのことですが、物価は日本の約8分の1だそうです。働きながら英語力を身につけた後は日本のコールセンターで受け入れるのではなく、それぞれの考えで次のステップ（目標）に挑戦させるという株式会社タカギの取り組みは、本当に素晴らしいと感じました。



グローバルアカデミー

セブ島に行ったもう一つの目的は株式会社アイランド（福岡市）が展開しているコンドミニウムホテルの視察です。最初にセブ市内を北上した高台にあるルマハイランドコンドミニウムホテル（約26㎡×63戸）を視察しました。1階にはプール、最上階の10階には市内を一望できるレストランとテラスがあり、日本人による企画・開発なのでロビーや部屋は落ち着いた雰囲気でした。価格は約650万円からでホテルの運用益（7～8%?）が還元される仕組み（最低保証あり）、オーナーは年間14日間の無料宿泊が可能だそうです。株式会社アイランドウェイフィリピンの松田社長に案内していただきましたが、現地の説明スタッフとして串匠（福岡市）社長の娘さんが勤務されていて驚きました。



テラス



ルマハイランドホテルロビー



寝室

次にマクタン島の海岸沿いにある約1310万円からのコンドミニアム（22階建て55㎡～×202戸）と約890万円からのコンドミニアムホテル（18階建て34㎡～×182戸）を視察しました。建築中の2物件はともに完成間際に見えるのですが、フィリピンも職人さんが不足している上に日本より建設会社がのんびりしていて予定通りに工事が進まず苦労されている様子でした。すべてが完成すれば間違いなくマクタンのリゾートエリアを代表するホテル施設になると思いました。

もし皆様の中で海外不動産にご興味のある方がいらっしゃいましたら、優良物件に投資して、年に2回ほどセブ島でご家族や友人と過ごされてみてはいかがでしょうか？



マクタンホテル外観



エントランス



ロビー



最近、趣味になったゴルフ🏌️~2019年1月1日施行 新しいゴルフ規則~

皆さま、こんにちは。生まれも育ちも熊本出身。

九州建設株に入社して27年目になります。平成5年に入社し、福岡・熊本で現場管理をやっていましたが、熊本で青年会議所（JC）に所属していた事もあり、平成13年に熊本で営業職になりました。そこで平成24年に福岡勤務を命じられ家族を連れて福岡に移り住み、早7年目になりました。



友人知人は熊本に多く、休日はたまに熊本へ行き友人と呑んだりゴルフしたりとしていましたが、福岡での休日は友人知人が少ない事もあり、少し退屈な休日が多かった為、なにか本格的に趣味を始めようと思う中、会社OBの先輩達から、福岡レークサイドで幾度となくゴルフをする機会が増えた事がきっかけで、昨年福岡レークサイドのゴルフ会員権を購入し、本格的に趣味としてゴルフを始めました。スコアは現在平均93位ですが、休日のゴルフが楽しみで月に3度位通っています。



そこで、2019年の1月1日から新しい規則が施行されてますので一部を紹介します。

【新しいゴルフ規則が2019年1月1日施行】

◆OB/ロストボールの処理

- 最初のボールがOBだった場合は暫定球と宣言して打ったボールで続けてプレーを行いますが、ティーショットであれば次が3打目になる実質2打罰のダメージになり、ティーショット以外のショットがOBした場合はティーアップをすることは出来ないが前のショットを打った場所に来るだけ近い所にボールをドロップして1打罰でプレーを続行することになります。また、プレー中のボールが見つからなければロストボール(紛失球)ということで前のショットを打った場所に来るだけ近い所にボールをドロップして1打罰でプレーを続行することができます。OB同様、実質2打罰のダメージになります。なお、新ルールでは前進2打罰という（ローカル）ルールでプレーすることが可能になっていますのでプライベートのラウンドではルールの下にOBしたと思われる地点やロストボールになった場所に最も近いフェアウェイからプレーすれば良いことになってます。

◆禁止行為の撤廃と緩和

- パットの際にピンを抜かずにプレーしても無罰になりました。

◆他の重要なルール変更

- 一回のストロークで二度以上誤って球をヒットした場合、旧ルールでは1打罰でしたが新ルールでは無罰になりました。
- 打った球が自分またはキャディや携帯品に当たった時は、新ルールでは無罰になりました。

※その他いろいろ規則が変わってますので、一度調べてみてください。

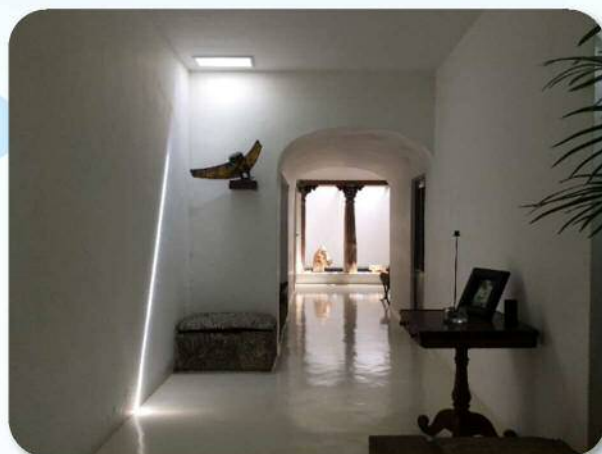


スリランカツアー ～ジェフリー・バワの建築めぐり～

スリランカに多くの名作建築を遺した建築家：ジェフリー・バワ。
— 昨年の事になりますが、多くの建築家に影響を与えたと言われるそのバワの建築を体感する旅に行ってきました。

【NUMBER11】

スリランカの町中に建つ、バワの暮らした自邸。
内部と外部の境界があいまいで、明と暗のコントラストがよく効いている。暗闇の向こうから白い壁を回り込んで来る光。この光のコントロールが非常に巧みな建築でした。



都心を離れた海岸に建つリゾートホテル 【JETWINGLIGHTHOUSE】

モダニズム的、装飾の無い柱・梁で構成された空間の中に、昔からそこにあった岩や、地元アーティストに依頼した置物、手摺代わりのオブジェなどが溶け込んでいる。

現代建築の手法を用いながら、その土地本来の姿を活かし、伝統的建築物のディテールも駆使し、どこか懐かしさ、暖かさを感じさせる。どうやらそれがバワ建築の真骨頂の様です。



そしてもうひとつのホテル。
【THEBLUEWATER】

バワ晩年の作品。
より強く自然（外部）と内部の一体感を表現されており、水の流れまでもが内と外を跨いでいる。建具も無い共用部は、実際どこまでが内部でどこからが外部なのか、はっきり判別が付かない。
そして中庭に無数に植えられたヤシの木や、オープンな空間に林立するコンクリートの柱の連続が、自然と一体となっていく感覚を増幅させる。



ジェフリー・バワの建築は、現代建築（モダニズム）を学んだバワが、スリランカの土地で育った日常の風景、雄大な自然（バナキュラー：土着性）を掛け合わせて生まれた、自然と人の精神をつなぐハイブリッド建築である。そう感じました。